

競技注意事項

- 本大会は、2025年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会要項により実施する。
また、共通種目は、WRk 対象競技会である。WA 規則により実施される。
全国ダウン症アスリート陸上競技記録会については、全国障害者スポーツ大会競技規則を参考に実施する。

- 招集について（招集所は競技場北側第4ゲート避難タワー下）

- （1）競技者は、招集時刻に招集所で点呼を受ける。その後、競技役員の誘導に従い、競技場に入場する。
退場は競技役員の指示による。
- （2）招集時刻は次のとおりとする。

競技種目	招集開始時刻(点呼開始時刻)	招集完了時刻(移動開始時刻)
トラック 競技	競技開始30分前	競技開始20分前
投てき 競技	競技開始40分前	競技開始30分前
跳躍 競技	競技開始50分前	競技開始40分前
棒高跳	競技開始60分前	競技開始50分前

※競技者は、競技順序記載の該当する組の競技時刻に合わせて、招集を受けること。

- （3）招集完了時刻に遅れたものは欠場とみなし、出場を認めない。（但し、他種目に出場中は代理でも可）

- 番組編成について（レーン順・試技順）

トラック競技のレーン順とフィールド競技の試技順は、主催者が抽選で決定し、プログラム記載の各競技者の登録番号の左に数字で示す。

- トラック競技について

- （1）スターターの合図は英語とし、一度の不正スタートでも責任を有する競技者は失格させられる。
- （2）800mにおいては、1レーンからレーンナンバーの若い順にレーンに入る。1組9名を超える選手が出場する場合は、7、8レーンを各2名が走る。また、欠場者がいる場合は、1つのレーンを2名で走ること無くすために、レーンを内側に詰める場合がある。レーンについては出発係の指示に従うこと。
腰ナンバーカードはプログラム記載の番号とする。
- （3）3000mにおいて、1組20名を超える場合は、原則としてグループスタートを行う。

- フィールド競技は、3回試技とする。

- アスリートビブスについて

- （1）アスリートビブスの番号は、2025年度の日本陸連登録番号とし、各自で作成し胸背部に確実に付ける。トラック競技の腰ナンバーカードは主催者が準備する。
- （2）跳躍競技の出場者は胸背部のいずれか一方のみでよい。

- 用器具は競技場のものを使用するが、やりは検定後持参のものを使用してよい。

やりの検定は競技開始1時間前にゴール側用器具庫で行なう。

- 競技場は全天候舗装である。また、競技用靴については、シューズに関する競技規則を適用する。

- 走高跳、棒高跳のバーの上げ方は下表のとおりにする。ただし、気象条件等により変更する場合もある。

競技	種別	練習	試技									
走高跳	男	任意 の 高さ	1.30	1.40	1.50	1.60	1.65	1.70	1.75	1.80	1.83	以降3cm ずつ上げる
	女		1.15	1.20	1.25	1.30	1.35	1.40	1.45	1.50	1.53	
棒高跳	男		2.60	2.80	3.00	3.10	3.20	3.30	3.40	3.50	3.60	以降10cm ずつ上げる
	女		2.00	2.10	2.20	2.30	2.40	2.50	2.60	2.70	2.80	

- 三段跳の踏切板は、男子は11m(Aピット)と13m(Bピット)、女子は9mとする。
- 第2陸上競技場、屋内走路を練習会場として開放する。
- 競技結果等については、宮崎陸上協会 Mobile サイト (<https://www.miyariku.org/keitai/index.html>) に掲載する。また、競技場正面玄関前にも掲示する。